

## 令和2年度 第6回 鳥取市総合企画委員会 議事概要

日 時	令和3年3月29日（月）14：30～16：30
場 所	鳥取市役所本庁舎6階 会議室6－5～6－8
出席委員	上原幸恵委員、岡村健太郎委員、小谷加代子委員、坂本直副委員長、塩谷義勝委員、下田敏美委員、杉本由美子委員、田中節哉委員、林由紀子委員長、前根伸彦委員、森本孝行委員、山田康子委員、山本暁子委員、吉田正委員 （敬称略 50音順）
欠席委員	田中利明委員、浜江和恵委員、森原昌人委員、矢野順治委員、山根滋子委員、吉田雅之委員 （敬称略 50音順）
鳥 取 市	市長・副市長ほか関係部局長、政策企画課、創生戦略室（事務局）

### <議事概要>

#### 1 開会（渡邊企画推進部次長兼政策企画課長）

#### 2 市長あいさつ

##### 【深澤市長】

皆さん、こんにちは。市長の深澤でございます。今日は年度末の大変お忙しい中、本年度第6回となります総合企画委員会にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。委員の皆様におかれましては、今日のこの会議を含めまして9回にわたり、第11次総合計画や第2期の創生総合戦略についてご審議を賜ってきておるところでございます。改めまして、感謝を申し上げます。

第11次総合計画の基本構想につきましては、今年の1月19日に答申をいただきまして、2月定例市議会に上程をさせていただきまして、議会の皆さんにご審議をいただき、3月24日、最終日に議決をいただいたところでございます。

本日は、この第11次総合計画の実施計画案や、また、第2期創生総合戦略について具体的な事業をお示しさせていただきたいと思っております。どうか忌憚のないご意見を賜りますようよろしくお願いを申し上げます。

また、委員の皆様におかれましては、本日がご就任最後の会議となるようでありまして、できますれば市政全般につきましまして、また、この総合計画、創生総合戦略について、

一言ずつ触れていただければ大変ありがたいなど、このように思っておりますので、どうぞよろしくお願いを申し上げます。簡単でございますが、開会に当たりましてのご挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

### 3 委員長挨拶

#### 【林委員長】

皆さん、こんにちは。委員長を務めさせていただいております林でございます。先ほど深澤市長さんからもお話がありましたが、この第11次鳥取市総合計画については、令和元年の7月に諮問をいただきまして、それに対して皆さんと一緒に1年半にわたって協議、検討を行ってきて、令和3年1月に答申をさせていただいたというものでございます。そして、3月24日には市議会での議決もされましたということでございまして、委員の皆さん、本当に1年半お疲れさまでございました。私も委員長として初めて計画策定に関わらせていただきまして、なかなか初めてのことでいろいろと分からないこともあり、委員会のたびごとに、これはこうしたほうがよかったかなといろいろ反省しきりでございましたが、答申が終わりほっとしたところでございます。

計画は実行してこそ意味があるものでございまして、今後は計画がきちんと実施できるように、そのことを注目し達成できるように委員会としてもチェックするという役割が、また次の委員の皆様によって果たしていただくことになると思います。それから、先ほど市長さんからもありましたが、この就任の中では今回が最後の委員会ということで、今日の次第の中で、4の議題の次に5として意見交換を入れております、時間の関係でどの程度皆さんにお話ししていただけるか分かりませんが、それぞれ一言ずつでもご意見、ご提案をいただけたらと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございます。

### 4 議題

#### (1) 第11次鳥取市総合計画 第1期実施計画(案)について

#### 【林委員長】

それでは、議事の進行をさせていただきます。お手元の次第に沿って進行させていただきます。

まず、(1)第11次鳥取市総合計画第1期実施計画案について、事務局より説明お願

いたします。

### 【上田政策企画課創生戦略室長】

失礼いたします。事務局、創生戦略室の上田でございます。説明資料につきましては、資料1をご覧くださいと思います。第11次鳥取市総合計画につきましては、本年1月に総合企画委員会を代表しまして、林委員長様から市長へ計画案を答申いただきました。先ほどもありましたけども、2月には、市議会に計画の議案を上程させていただきまして、3月24日に議決され、この4月から新たな計画がスタートするという運びとなっております。6月頃までには、この新しい計画書を印刷製本させていただきまして、委員の皆様にお届けするよう予定しているところでございます。

この新たな計画を推進する主要な事業につきましては、実施計画に位置づけることとしております。昨年12月の総合企画委員会に実施計画のイメージ案をお示ししていましたが、その後、令和3年度の当初予算編成に併せまして、内容を検討させていただきまして、お手元資料の実施計画案として取りまとめさせていただいております。

まず、1ページ、第1章実施計画の概要というところからでございます。真ん中、少し下にピラミッド状の図を添付しております。総合計画は、上から順に基本構想、基本計画、実施計画の3層構造で構成しております。実施計画につきましては、基本施策を実現するため、推進する事務事業を定めることとしております。

下の2番、対象事業でございます。対象事業は、基本計画で定めた基本施策、こちらに関わりの深い主要な事業を位置づけさせていただきまして、日常的に行われる事務事業は対象外とするようにしております。

それから、右側、3計画の期間と計画の運用というところからでございます。こちらは毎年度の施策の進捗状況ですとか、新たな課題を踏まえて事務事業を検討しまして、予算編成に併せて見直しを行い、3年計画を策定することとしております。基本計画は5年間の計画ですので、実施計画は5回策定する形となります。

3ページをお開きください。第2章、実施計画となります。少し下の1、総括表、その中に(1)で重点施策、総合戦略とあります。こちらには総合戦略の基本目標ごとの事務事業数を記載しております。真ん中右側に合計を表示しておりまして、計197事務事業となっております。また、このうち21につきましては再掲事業となっております。この重複を除きますと、実質176の事務事業を実施することとしております。続きまして、真ん中少し下、(2)で基本施策の展開というところの集計表をご覧ください。集計結果

につきましては右側4ページの下に記載をしております。事務事業数の合計は282、このうち26は再掲事業となっておりますので、この重複分を除きますと、実質256の事務事業となっているところでございます。下、2番の計画の内容でございます。施策別の事務事業の概要を、これから順に説明させていただきたいと思っております。

5ページをお開きください。こちらの様式につきましては、一番上に総合計画、総合戦略の目標などを記載しまして、少し下に、その基本施策を推進する事務事業を所属別一覧で記載するようにしております。その一覧表の左から2列目、ナンバーの次になりますが、こちらには人口減少問題を克服し、地方創生を推進する総合戦略の事業に該当するものに丸印をつけております。それから、少し右に行きまして4列目と5列目、こちらには事務事業の予算区分、それから事業別概要のページ番号を記載しております。詳細につきましては資料1参考資料、事業別概要等抜粋で参照可能なつくりとしております。ご覧いただいております一覧は、基本施策、結婚・出産・子育て支援、こちらに位置づけた事務事業です。事業数は子どもの居場所づくり推進事業費などの30事業、うち総合戦略の事業は27事業となっております。以降は基本施策ごとの事業数と再掲事業などを中心に説明させていただきます。

8ページをお開きください。こちらは教育の充実・郷土愛の醸成です。事業数は環境大学運営費交付金など12事業、うち戦略事業は11事業です。

それから、次の9ページをご覧ください。9ページ下にナンバー12、GIGAスクール構想事業費がございますが、こちらは2月の補正予算で予算措置されまして、令和3年度、新年度に繰り越して実施する事業となっております。市の予算事務事業は年度内の完了が基本となりますが、例外的に翌年度に繰り越して実施する事業もございまして、そのようなもののうち主要なものにつきまして実施計画に位置づけております。

次に、右側、10ページをご覧ください。生涯学習の推進です。事業数は鳥取市生涯学習推進講座麒麟のまちアカデミー開設費などの6事業、うち戦略事業は5事業となっております。

次に11ページをご覧ください。安心できる社会保障制度の運営です。事業数は地域共生社会推進・生活困窮等包括的支援事業費など4事業です。戦略事業はございません。

12ページをご覧ください。こちらは超高齢社会に向けたまちづくりの推進です。事業数は福祉事業所指導監督事業費など13事業、うち戦略事業は13全部となっております。

14ページをご覧ください。こちらは障がいのある人の自立支援です。事業数は身体・

知的・精神障害者相談員設置事業費など7事業です。戦略事業はございません。

15ページをご覧ください。健康づくり・疾病予防・介護予防の推進です。事業数は高齢者福祉・ボランティアバス運行事業費など13事業、うち戦略事業は12となっております。右側、16ページの一番下、ナンバー13の地域リハビリテーション活動支援事業費でございます。こちらは超高齢社会に向けたまちづくりの施策で位置づけた事業の再掲となっております。

17ページをお開きください。安全・安心のための保健衛生と医療の推進です。事業数は災害医療対策費など7事業です。戦略事業はありません。このうち、一番下のナンバー7、市立病院運営費、こちらは公営企業の鳥取市立病院の運営事業となっております。

右側、18ページをご覧ください。スポーツ・レクリエーションの振興です。事業数はスポーツ推進委員活動費など10事業。うち戦略事業が10全部となっております。

19ページをご覧ください。人権擁護の推進と人権意識の醸成です。事業数は市民啓発推進費など4事業です。戦略事業はありません。

右側、20ページ、男女共同参画社会の形成です。事業数は女（ひと）と男（ひと）とのハーモニーフェスタ事業費など4事業です。戦略事業はありません。このうち一番下、ナンバー4の事業につきましては結婚・出産・子育て支援に位置づけた事業の再掲となっております。

21ページをご覧ください。地域福祉の推進です。事業数は地域食堂ネットワーク運営補助金など6事業、うち戦略事業は4事業です。一番上のナンバー1の事業は結婚・出産・子育て支援に位置づけた事業の再掲です。それから、下の5番と6番、こちらは超高齢社会に向けたまちづくりに位置づけた事業の再掲となっております。

右側、多文化共生のまちづくりの推進です。事業数は国際交流プラザ管理運営費など5事業、うち戦略事業は5全部となっております。

23ページをご覧ください。協働のまちづくりの推進です。事業数は若者による地方創生政策推進事業費など7事業、うち戦略事業は7全部としております。

右の24ページをご覧ください。持続可能な経済成長の実現です。事業数は国際経済交流推進事業費など15事業、うち戦略事業は15全部としております。このうち、真ん中辺り、4番の事業につきましては超高齢社会に向けたまちづくり、こちらの施策に位置づけた事業の再掲です。

26ページをご覧ください。工業の振興です。事業数は、国際経済交流推進事業費など

3事業、戦略事業は3つ全部です。また、掲載事業3つは全て持続可能な経済成長の実現にも位置づけている事業の再掲となっております。

27ページをご覧ください。商業とサービス業等の振興です。事業数は関西情報発信拠点推進事業費など6事業、うち戦略事業は6つ全部です。1番と3番と5番、この再掲事業につきましては、持続可能な経済成長の実現の施策の再掲事業となっております。

右の28ページをご覧ください。農林水産業の成長産業化です。事業数は学校給食計画栽培支援事業費など24事業、うち戦略事業が18となっております。

30ページをご覧ください。ふるさと・いなか回帰の促進です。事業数は文化芸術推進事業費補助金など9事業、うち戦略事業は9つ全部となっております。このうち5番と9番の事業につきましては商業とサービス業、7番は協働のまちづくり、8番は持続可能な経済成長の各施策に位置づけている事業の再掲でございます。

31ページをご覧ください。滞在型観光の推進です。事業数は国際観光推進事業費など10事業、うち戦略事業は9となっております。

33ページをご覧ください。シティセールスの推進です。こちらは、事業数はシティセールス推進事業費などの4事業、うち戦略事業は3つとなっております。下の4番の事業につきましては持続可能な経済成長の実現にも位置づけている事業の再掲です。

右側、34ページをご覧ください。自治体間連携の推進です。事業数は麒麟のまち創生推進事業費など4事業、戦略事業は3つです。このうちナンバー3は滞在型観光の推進、ナンバー4につきましては農林水産業の成長産業化、それぞれの施策に位置づけたものの再掲となっております。

35ページをご覧ください。他都市との交流の推進です。事業数は国際交流費など2事業です。戦略事業はございません。

右側、36ページをご覧ください。文化芸術によるまちづくりの推進です。事業数は文化振興費など4事業、うち戦略事業は4つ全部です。このうちナンバー2につきましてはふるさと・いなか回帰の促進にも位置づけている事業の再掲となっております。

37ページをご覧ください。文化財の保存・整備による「まちづくり」資産の形成です。事業数は鳥取城跡保存修理事業費など3事業です。戦略事業はございません。

右側、38ページ、生活基盤の充実です。事業数は要望活動事務費など13事業、戦略事業は6つとなっております。39ページ、次のページをご覧ください。12番、13番でございます。12番につきましては震災対策整備事業、こちらは公営企業の水道事業の

事業となっております。それから13番につきましても同じく公営企業で下水道事業の実施事業となっております。

40ページをご覧ください。中心市街地の活性化です。事業数は旧本庁舎・第二庁舎跡地活用検討事業費など9事業、うち戦略事業は8つとなっております。41ページをご覧ください。先ほどの続きになりますが、一番上、ナンバー8、鳥取駅周辺にぎわい創出事業でございますが、こちらは生活基盤の充実にも位置づけている事業の再掲となっております。

42ページをご覧ください。魅力ある中山間地域の振興です。事業数は人材誘致・定住促進対策事業費など8事業、うち戦略事業は8つ全部となっております。このうち一番上のナンバー1の事業につきましては、ふるさと・いなか回帰の促進にも位置づけているものの再掲です。

43ページをご覧ください。交通ネットワークの充実です。事業数は山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議負担金などの5事業です。戦略事業はこのうち4つとなっております。

44ページをご覧ください。地域情報化の推進です。事業数は市政広報費などの9事業、うち戦略事業は3つとなっております。一番上のナンバー1の事業につきましてはシティセールスの推進、それから下のナンバー9のGIGAスクールの事業は教育の充実・郷土愛の醸成にも位置づけているものの再掲となっております。

45ページをご覧ください。地域防災力の向上です。事業数は総合防災対策事業費など13事業、このうち戦略事業は4つとなっております。右側、46ページの一番上、ナンバー8、避難行動要支援者の事業でございます。こちらは地域福祉の推進に位置づけたものの再掲です。それから、下のナンバー13につきましては公営企業、下水道事業の事業となっております。

47ページをご覧ください。防犯・交通安全対策の充実です。事業数は交通安全対策費など3事業です。戦略事業はございません。

48ページをご覧ください。安全・安心な消費生活の確保でございます。事業数は1で戦略事業はございません。

49ページをお開きください。循環型社会の形成です。事業数はごみ減量化推進事業費など3事業、戦略事業はございません。

最後に50ページをご覧ください。環境保全活動の推進でございます。事業数は名木・

古木保存費など6事業となっております、戦略事業はございません。

実施計画の説明につきましては、以上でございます。

続きまして、お手元に当日配付資料、委員事前意見一覧をお配りしておりますので、ご覧いただきたいと思っております。本日の会議資料、実施計画案につきましては、坂本副委員長様から事前にご意見等いただいておりますので、担当部局長より順次回答内容の概要を説明させていただきます。

### 【平井経済観光部長】

経済観光部長の平井です。事前にいただきました意見のナンバー1でありますけれども、この第11次総合計画の中で、「しごとづくり」の分野で新規に実施される計画はどのようなものかということで、右のほうに回答をさせていただいております。資料1の25ページの14番、これは地元企業早期ブランディング事業費という名前をつけておりますが、高校生の職場学習、企業学習というものを、令和3年度から新たに計画をしております。これまでは実業高校2年生の企業見学会ということで、大型バスで学年が3班ぐらいに分かれて、企業を2、3社見学してもらおうという事業でありましたが、より地元定着率を上げるために、令和3年度からは年間を通じた高校のカリキュラムとして、オンラインサービスを使った特定の企業へのフィールドスタディということもやります。事前にその企業やサプライチェーン、地域のつながりというようなものを、端末を使った学習をして、その上で企業の職場体験を行い、また、その後も事後学習ということで、その学びを深めていただくというような年間のカリキュラムということを計画しております。今までは普通高校はございませんでしたが、今回鳥取西高等学校からも申込みがありまして、令和3年度は試行的に2校で実施していただくとしております。こういうことによって、仮に大学進学された方でもその卒業後の就職先の選択として、地域の企業への理解とかそういうものを通じて検討してもらえないかというようなことを考えております。

それから、もう一つ、資料1の27ページの6番目になりますけれども、これは令和3年度新規で上げておりますオフィス移転誘致の活動、事業の一つですが、6番については、ワーケーションを意識したような改修なり拠点づくりに対する支援を予定しております。その上の4番のところにも同じようにオフィス移転という事業を書いておりますが、これは令和2年度のコロナ対策の補正予算で既に着手しておりますが、実質的にはこの第11次総合計画のアフターコロナという動き等を先取りしたようなものですので、様々な形でオフィス移転とか新規の工場の進出とか、そういったものを呼び込んでいきたいと思っております。

おります。新規事業としてはそのような概要です。

続きまして、2番目にご質問いただいております、総合戦略の中での数値目標についてはKey Goal Indicatorということでいいかと。その上で、各事業のKPI、Key Performance Indicatorとの関係性を「しごとづくり」の中での説明をということであります。おっしゃるとおり、総合戦略の数値目標というのは最終目標で、KPIはそれを図るための各事業の進捗状況などの数値ということで意識しております。例としましては、右側の回答の後半の部分に書いておりますが、例えば、総合戦略のしごとづくりの数値目標で一番頭にしております、就業者1人当たりの市内GDPの向上という目標に対して、施策として持続可能な経済成長の実現ということで、事業としては、そのうち一つですが、市の公式インターネットショップとっとり市につままして売上げを伸ばしていこうというようなことを書いております。そのあたりが一応関連しているというようにご理解いただければと思います。確かに総合戦略の数値目標をこれで実現できるのかというようなご指摘はあろうかと思っております。数値目標というのは市だけで全てコントロールできるものではないとも思っておりますが、関係機関ということもございますので、様々な各方面の取組と併せて、我々も施策を展開してこの目標に近づきたいという気持ちでおります。以上です。

#### **【高橋企画推進部長】**

企画推進部長の高橋でございます。続きまして、当日資料裏面のご説明をさせていただきたいと思っております。3番については総合戦略と実施計画との関連ということですが、総合戦略の資料のご説明がまだでございますので、総合戦略の説明をしてから3番についてはお話しをさせていただきたいと思っております。

4番につきましては、実施計画に関して、継続事業がほとんどで、新しい事業など、既存事業の棚卸しや外部環境等の変化に対応する新しい視点が必要ではないかというようなご意見でございます。そのとき時々刻々と変わる世に応じた施策が必要ではないかということですが、これは誠にもっともなことで、我々もそれを目指していかなければいけないというように考えております。行政の事業というのは、継続しなければいけない、継続性が大事な事業もたくさんございますので、回答にも書いておりますが、例えば子どもの医療費負担の軽減でありますとか、休日夜間診療など、こういったことにつきましては継続して実施すべきものであるというように考えております。また、後段につきましては、GIGAスクール構想でありますとか、地元企業早期ブランディング事業など、新たな事業も

取り入れさせていただいております。いずれにしましても、実施計画の計画期間は3年ということですが、毎年度見直しということですので、そのときそのときに応じて新たな事業を加えていく、あるいは少し達成したような、さらに上に向かっていかなければいけないような事業については変更していく、そういうような見直しを行ってきたいと、行うべきであろうというように思っております。

また、5番目でございますが、総合計画などの計画遂行に当たって、力強く事業推進を行う〇〇事業推進本部というような新しい組織をつくる必要があるのではないかとということでございます。こちらもご指摘のとおりだというように思います。幅広い分野を総合的かつ一体的に取り組むということは必要であろうかというように思います。例えば、今までも情報化の推進本部でありますとか、生涯学習の推進本部、協働のまちづくり推進本部、そのほかにも男女共同参画関係の本部であるとか、様々な本部を設けて、こちらの今までの総合計画実施に併せて事業の推進を行ってきております。引き続き、こうした本部で専門的に、集中的に審議を行って事業の推進を行うとともに、トータルとすれば総合計画の達成に向けて事業を進めていくと、そういった取組を取り組んでいきたいというように考えているところです。以上でございます。

#### 【林委員長】

ありがとうございました。坂本副委員長から5点、事前にご意見を出していただいて、ナンバー3は資料2の関係ですので、後で説明していただくことにして、1、2、4、5について、ただいまの回答についていかがでしょうか。

#### 【坂本副委員長】

実施計画策定の際には、いろいろご苦労があったんだろうと思います。全体を見させていただきますと、先ほど高橋部長が言われたように、継続事業として当然持続的に対応していかないといけない部分がある。これは当然お金に限りがあるわけですから、それを踏まえて今の鳥取市が直面している課題、もしくはこれから将来に向かってより魅力的な地域になるための課題、いろいろなものを組み込んでいかないといけないという意味では、市のご担当の方々、市長を始め皆様のご苦労というのはかなり大きなものだろうと思います。そのことを承知した上で、過去の数回の委員会の中でも、度々言わせていただいたのですが、やはり基本的に現状の掘り下げというのが実態を踏まえてできている部分、特に戦略的に何をしよう、こうしようというところの、戦略性を高めていく上での現状に対する掘り下げといたしますか、調査といたしますか。現状目指すべきものが、なぜ今その状態で

とどまっているのかという原因追求も含めて、そこをしっかりとやっていくことが、いわゆるこの計画を推進していく上でも実行性ある計画にするためには必要だろうという視点でご質問をさせていただいたというところでございます。特にこの実施計画の中でほとんど新規性が見られないというのは、先ほどの予算措置等の問題もあるでしょうし、また、コロナがなかなか終息しない、先が見えない状況、そういうことも踏まえてのこともあって、なかなか新しいことに対してのチャレンジと申しますか、そういうことが見えにくいということだろうというふうには理解しております。ただ、その中身を見て、先ほどちょっと戦略性がある云々ということも含めて新規性のことをご質問したのですが、回答として、2つのことを掲げられているのですが、少なくとも令和3年度の予算の中で上げられている、先ほどの地元企業早期ブランディング事業、これは予算規模として非常に小さいですね。それと、いわゆるワーケーションと、今、国のほうでいろいろ言われているもの、新規事業がこの2つしかないというのが、非常にそういう意味では、先ほど冒頭申し上げたようなことにもつながっているのかなということ。実施計画として今回示されているものが議会で承認されたということでございますので、今後の、次の実施計画、もしくはそれぞれ計画されているものを実施されている中で見直しをかけられたり、そのことの効果に関してしっかり評価をしていただくということをお願いをしたいというように思います。

それから、2番目のKPI、KGIに関しましては、やっぱりここが制度設計の中でしっかり反映させていかないといけないということで、先ほど平井部長が事例として挙げられたものに関しましては、これが鳥取市のGDP、7,500万弱の達成につながるものかとなると、若干論拠に乏しいような感じがいたします。そもそもGDPを上げていくというためにはいろんなファクターがあると思いますので、そのファクターを明確に上げた上で、それがKPIとなって、それぞれのファクターのKPIをしっかりと実現することが、いわゆるトータルとしてのGDP、これがKGIとすれば、その実現につながるだろうというように思っていますので、具体的に実施していく中で、幾つかのKPIが当然KGIを実現するためにはあるはずですので、KGIとKPIのその関連性とか、もしくはそのウエート付け、そういうものをしっかりとやっていただけたらというように思います。

それと、4番目、これはまさに先ほど、当初申し上げたこととつながるところでございます。これは実施計画だけではなくて、戦略や総合計画の中でもなかなか新しいものといえますか、現状を捉えきれていないなというところがありましたので、ぜひ、朝礼暮改になるということはなかなか難しいかもしれませんが、事業を進めていかれる中で十分な

検討をもって、やはり変化させていくといたしますか、本来の目標目的にかなったものにしていただけたらというように思っております。

5番目に関しましては、私が申し上げるのは、非常に蛇足みたいなことになるかと思いますが、やはりいろんな物事を進めていく上で、なかなかスピード感が我々から見て感じられないというのが、現状の市のいろんな施策を進めていく中で感じておるところでございます。そういう意味で、やはり重点的な課題をしっかり狙いをつけて、いわゆる組織そのものをもう少しダイナミックに見直していただくということも必要があるのではないかと、申し上げた次第でございます。取りあえず私からは以上でございます。

#### **【林委員長】**

ありがとうございました。スピード感がないというちょっと厳しいご指摘もいただきましたが、この実施計画をそれぞれ実施していく中で努力をすべきということだったと思います。これは、ご提案ということで受け止めさせていただきます。

そのほか、皆さんの中らご意見とかご質問ありましたらお願いいたします。いかがでしょうか。よろしゅうございますか。

それでは、資料1はこれで終わらせていただいて、次は(2)、第2期鳥取市創生総合戦略(案)についてに入らせていただきたいと思います。事務局より説明をお願いします。

#### **【上田政策企画課創生戦略室長】**

事務局の上田でございます。資料の2-1をご覧くださいと思います。

第2期鳥取市創生総合戦略(案)でございます。昨年12月の総合企画委員会でお示しました第2期戦略案、こちらにつきましては、その後、関係部局におきまして第11次総合計画を踏まえて、記載内容の最終調整を行わせていただきました。総合戦略の主な修正内容につきましては、もう一つの資料、資料2-2を添付しておりますが、そちらに一覧として集約しております。本日の説明につきましては、一覧ではなく、この2-1、戦略本体の資料を使い順に説明させていただきます。説明させていただく箇所につきましては、目印として黄色の太枠で囲っておりますので、参照いただければと思います。

最初に10ページをお開きください。真ん中少し下に、教育の充実・郷土愛の醸成という施策を位置づけております。総合戦略の重点施策の記載につきましては、総合計画基本計画の施策の基本的方向という項目がございまして、その記載と同じとするつくりとさせていただいております。黄色の枠の記載の一部につきましては、総合戦略の記載と若干ずれが生じておりましたが、最終的に総合計画が固まりましたので、それに合わせて整えると

いう意味で修正をさせていただいております。

続きまして、15ページをご覧ください。こちら持続可能な経済成長の実現でございます。こちらの黄色の枠も変更しております。

続きまして、17ページをご覧ください。工業の振興でございます。こちらの黄色の枠、先ほどの持続可能な経済成長、こちらの工業の振興、総合計画の施策の基本的方向に合わせまして、記載を修正しております。それから、一番下にSDGsの項目がございます。こちらのアイコンに総合計画に合わせまして10番の人や国の不平等をなくそう、こちらのアイコンを追加させていただいております。

続きまして、右側18ページをご覧ください。商業とサービス業等の振興でございます。こちらの黄色の枠、同じく総合計画に合わせまして記載内容を修正しております。それから、下の具体的な取組でございます。こちらにオフィス新設、移転への支援、こちら修正前は文末の記載を支援の検討としておりましたが、令和3年度当初予算で事業化されましたので、こちら支援という表現に修正をさせていただいております。

続きまして、19ページをご覧ください。19ページ、SDGsのアイコンでございます。こちらも総合計画に合わせまして、11番を追加しております。

続きまして、22ページをご覧ください。22ページは、農林水産業の成長産業化でございます。同じくSDGsのアイコン、総合計画に合わせまして12番を追加しております。

続きまして、26ページをご覧ください。滞在型観光の推進です。黄色の枠につきましては、同じく総合計画に合わせた修正を加えております。

27ページをご覧ください。SDGsのアイコンでございますが、同じく総合計画に合わせて17番を追加しております。

続きまして、右側28ページをご覧ください。シティセールスの推進の施策となります。こちらのKPI、シティセールス取組評価値、こちらはこれまでは数値が整理中ということで未記載でございましたが、令和2年度の調査結果がまとまりましたので、それを元に現状値63.8%、目標値71.5%としております。

29ページをご覧ください。文化芸術によるまちづくりの推進、こちらの黄色の枠、それから31ページをご覧ください。31ページ下になります生活基盤の充実、この2つの黄色の枠につきましては、同じく総合計画に合わせて修正を加えております。

それから、右側32ページの下、SDGsのアイコン、総合計画に合わせて17番を追

加しております。

続きまして、34ページをご覧ください。魅力ある中山間地域の振興、こちらの黄色の枠と、それから36ページは交通ネットワークの充実、こちらの黄色の枠、それから連続になりますが、37ページの地域情報化の推進の黄色の枠、この3つにつきましても総合計画に合わせた表現に修正をさせていただいております。

それから、39ページをご覧ください。スポーツ・レクリエーションの振興です。SDGsのアイコンに、総合計画に合わせまして8番を追加しております。

続きまして、44ページをご覧ください。地域福祉のまちづくりの推進の施策となります。下のSDGsのアイコンに、総合計画に合わせまして4番と16番を追加させていただいております。総合戦略案の説明につきましては以上でございます。

続きまして、先ほどの委員事前意見一覧、こちらのナンバー3につきまして、引き続き説明させていただきます。

#### 【高橋企画推進部長】

それでは、先ほどの当日配付資料の裏面、3番をご覧くださいと思います。

これにつきましては、ただいまの総合戦略と、それから最初に説明させていただきました実施計画、それとの関連性とか網羅性が見えない、また初年度から5年目までの設計ができていないのではないかとのご指摘でございます。総合計画との関連につきましては、回答にも若干書かせていただいておりますが、例えばということで、資料2-1の16ページの例を記載させていただいております。ご質問の戦略の具体的な取組と実施計画との関連性ということでございまして、16ページに具体的な取組ということで、①から⑤までの項目で挙げさせていただいております。そして、実施計画、先ほどの資料1では24ページの施策が該当になってまいります。この両者の関係でございますけれども、例えば資料2-1の16ページの②のところに、公式インターネットショップのとっとり市の取組が書いてございます。これにつきましては、実施計画では24ページの表の7番が該当になります。もう一度戦略の16ページに戻っていただきますと、この具体的な取組の①から⑤まで、取組がポツごとにそれぞれあります。このポツごとの取組それぞれが、実施計画の24ページの表でいきますと、こちらの創生総合戦略事業の欄に丸がついているところ、これの事業のどれかに当たるということになっています。直接どれとどれがということとはちょっとただけでは分かりにくいということがあるので、そういったことを含めてのご指摘だろうかというように思いますけれども、関連といたしましたら創生総合戦

略16ページの取組は、全て実施計画24ページと25ページ、この両方に掲げさせていただいておるといことでございます。ほかの取組につきましても、戦略、それと実施計画につきましても、このように関連するような形で計画をつくらせていただいております。ところでございます。

それから、5年目までの設計ということですが、ちょうど実施計画24ページを開いていただいていると思いますので、24ページでいいますと、真ん中の列のところ、令和3年度から5年度ということで、事業の概要を記載しております。そして、その右側に令和3年度の事業を書かせていただいております。ご指摘のとおり、5年間の1年目がこれで、2年目がこれでというふうな形にはしておりませんが、来年度の計画をこのようなことで考えています。そして事業の進捗状況を見たりしながら事業の見直しを毎年毎年行っていきたいというように思っているところであります。実施計画の上には基本計画が、これが5年間ございます。実施計画と基本計画、これは結びついた計画になっておりますので、そういった意味で、5年間の目標を定めて進めさせていただくというようにいたしております。以上でございます。

#### 【林委員長】

ありがとうございます。ただいま資料2-1の、第2期鳥取市創生総合戦略の説明をしていただきました。それで、事前に出していただいた坂本副委員長さんのご質問に対して、ただいま回答がありましたが、いかがでしょうか。

#### 【坂本副委員長】

非常に不満足な回答をいただいたように、私は認識しています。まず総合戦略の中身と、それからこの実施計画で掲げている中身のレベル感についてですが、今、高橋部長がご紹介された、公式インターネットショップとっとり市の売上金累計額云々というところと、総合戦略の16ページの販路・取引拡大、これを対比されているということなんですけども、いわゆる総合戦略に書かれている内容のレベル感と実施計画に書かれているレベル感がほぼ一緒だということなんです。これは何を言っているかという、結局先ほどもおっしゃいましたように、戦略を実施するための本当のホップ・ステップ・ジャンプ、しっかり初年度の実施計画の中で検討できているのか。要は、それぞれ3年間と5年間というところで期間の差が2年ありますけれども、5年で書かれている内容と3年として書かれている内容がほぼ似通っているという状況の中で、なかなか実現性を、この販路・取引拡大というのが具体的な取組だとすれば、その1項目のところのとっとり市における云々と

いう内容、それとそれを踏まえたK P I と、この実施計画の中での掲げている項目、このレベルがあまり具体的でないということなので、これをどうされるのかなというところが一つの疑問点でございます。それを踏まえて、初年度の実施計画として議会承認された令和3年度の当初予算、ここの関係性がどんなになっているのかなと。恐らくインターネットショップを例に取られたのは、分かりやすいということで取られたのだと思いますが、この1年、令和3年度が終わった暁には、例えばこの項目はどういうふうなことを目指されているのか、結果的にどうなっているのかなというところが、ちょっと全体の立てつけとして分かりづらいなということでございます。

総合戦略の36ページ、交通ネットワークの充実というのがございます。例えば、これについて、総合戦略と実施計画の関連性を、同じレベル感でご説明いただいたらどうなるかちょっとお尋ねしたいんですけど、よろしいでしょうか。

交通ネットワークの充実というものが、戦略の課題として示されているわけですね。この総合戦略と、実施計画の中でどれが対比してどうなっているのか、そのところをご説明いただけますでしょうか。

#### **【林委員長】**

事務局で回答をお願いします。

#### **【上田政策企画課創生戦略室長】**

事務局でございます。戦略36ページの一番上、共助交通の導入件数、こちらK P I がございまして、次に、下の具体的な取組で、持続可能な生活交通体系の構築、その中にバス路線の再編や共助交通等の推進を図っていくという取組がございます。実施計画につきましては、43ページになりますけども、こちらの4番目、再掲事業ですが、地域主体型生活交通確保支援事業費、共助交通に取り組むN P O等に対する運行補助ですとか、車両の導入支援、そういった施策を通じまして、持続可能な交通網の推進を図っていくというような取組による事業をここに位置づけております。そのような視点でご覧いただければと思います。

#### **【坂本副委員長】**

今のご説明に関してなんですけど、じゃあ、そういう形でここで取り組みますよねと、これは再掲になっていますけども、従来がどうだったのか、結果こうなっているのか。今現在を捉えてこの戦略に対して、令和3年度以降の計画はこうなっているのか。これの実現性とか整合性に関して、今までの経緯の中で実現できていたことと、それから実現でき

にくかったことと、実現できなかったこと、こういうものが恐らくあるんだろうと。それを踏まえた上で、戦略に基づくものを実施計画として落とされて、これを例えば3年なり5年の中で、どのようなプロセスで実現していくかというところまで、しっかり落とし込んで、初年度の予算の中に反映されているかということをご質問させていただいているんですけど、その辺はいかがなんでしょうか。

**【林委員長】**

都市整備部長さん、お願いします。

**【谷口都市整備部長】**

都市整備部長の谷口でございます。まず、戦略でKPIを掲げておりますけれども、令和元年度で3件共助交通の導入が実施されております。公共交通の状況でありますとか、空白地の状況を踏まえまして、令和7年度には8件ぐらいの対策が必要だろうという計画を立てているところでございます。その中で、この実施計画では、43ページになりますけれども、令和3年度は共助交通の運行助成4団体、それから導入支援5団体というのを、予算化して取り組んでいこうという計画にしておるところでございます。

**【坂本副委員長】**

事業別概要では153ページということが書いてありますが、これ、予算としては、100円バスというところですか。

**【谷口都市整備部長】**

この共助交通の支援金は153ページの上の段に入っております。この中には路線バスの維持のための予算でありますとか、それから路線バスが通らないようになったところの共助交通を支援する予算というようなものが盛り込んであります。

**【坂本副委員長】**

分かりました。中身をまた見させていただきます。非常につながりが見づらいんですね。なかなか事前に全部が見切れていないんですけども、先ほど申し上げましたこの目標値が本当に実現されていくためにホップ・ステップ・ジャンプでしっかりデザインされていて、それが結果として間違いなくほぼ達成できると。そのためのKPIは何ぞやというところに落ちていないので、実施することが、要は予算を使うことがKPIになってしまっている。何ができたから、最終的に目標の8件なんだというところまで、本当に行けているのか。例えば共助交通の導入件数で、共助交通ってそもそも何ぞやというところまで、ちゃんと落とし込んで、その中の現状が3件ですよ。これを8件にするにはどういう内容

で8件になりますよと。そのためにはこういうことをやる、ああいったことをやる、そして結果的にこうなりますよと、きちっとつながっていますかということをお尋ねしているんですね。細かく見ることができなくて申し訳ないんですけども、それが全然問題なくきちっとできていますよということであれば、問題ないと思うんですけども、そのあたりはいかがでございますか。

**【林委員長】**

この点については、企画推進部部長さん、お願いします。

**【高橋企画推進部長】**

その点については各課で検討しておると思いますので、毎年のローリングといいますか、見直しのときにそういったことが明らかになってくるとは思いますけれども、私どもでいただいておりますのは、5年間の計画を今回くださいという具合にはお願いはしておりませんが、5年後の目標ということで、数値設定をさせていただいておりますので、段階的な計画策定、そういったものをしていただいているというように思っております。

**【坂本副委員長】**

思っていられればもうそれはそれで大丈夫だと思うんですけど、要はこの計画段階で、きちっとそういうものが整合性のある形で説明が果たされていて、それをちゃんとわかるべきレベルでご了解、ご理解されているのかと。要は現場から上がってきたからそうだろうなという話ではなくて、これは1つの事例として挙げたのですが、本当にどういう内容で、共助交通を実現するんだ。こういうものがあるべき姿の共助交通だという前提なり、方向感があって、その具体的な内容がこれで、これを実現するためにこうだというのがきちっとできておるということであれば、私どもとしては安心できるんですけども、なかなかそれが見えづらいということで、挙げさせていただきました。この交通ネットワークの充実という件に関しては、かなりいろんな課題があるとは私自身思っているんですけども、またひとつよろしくお願ひしたいと思ひます。

**【林委員長】**

ありがとうございました。委員の皆さまから何かご質問、ご意見等ございますでしょうか。今ちょうど第2期鳥取市創生総合戦略について意見を伺っているところです。いかがでしょうか。はい、塩谷委員さん。

**【塩谷委員】**

今のところの関連以外でもいいでしょうか。都市整備部長、そして企画推進部長にちょ

っとお願いします。

以前、この委員会で駅前整備事業についてお尋ねしたことがあります。現在、駅前整備事業は継続中ということでしたが、令和2年度、第2期鳥取駅周辺再生基本構想で交通アクセスターミナル機能、これの強化と、そして駅前既存商業施設及びバード・ハットを活用したイベントを活性化し、そういうことで駅前を活性化していくということが上げられており、また20日前後の日本海新聞に2回ほど連続で、駅前整備事業が取り上げておられました。これ、ぜひ実施していただきたいと思います。ぜひ駅前周辺だけでなく、市役所の移転により若桜街道商店街は疲弊しているというか、人通りが物すごく少なくなっていくと思うんです。そのことに関連してですが、ぜひ旧市庁舎跡地を小劇場といいますか、舞台設備が整備された施設であって、作品展示を展示する部屋を何部屋か設置して、部屋の中の仕切り板を取ったら、鳥取市美術展でもできるようなもの、そういう人が出入りするような施設つくっていただきたいと思います。

この間も新聞に出ていましたが、専門委員会でもちょっと結論がまだ出なかったということですが、市民アンケートも済んで、各団体の要望もほとんど出尽くしておると思っております。ぜひ、鳥取市が主導を取って、旧市庁舎跡地活用の方向を決定していただきたいと思います。市のキャッチフレーズではないですけど、人がいきかい、にぎわう鳥取、駅前から若桜街道商店街、これが鳥取の顔だと思っておりますので、ぜひ文化芸術を展示できるような施設をつくっていただきたいと思います。都市整備部長と企画推進部長に、ちょっとお話いただきたいと思います。よろしくお願いします。

#### 【林委員長】

塩谷委員さんから駅前活性化の整備事業の実現と若桜街道の活性化、それと市役所跡地についての活用について、ご意見、ご提案がございました。都市整備部長さんと企画推進部長さん、回答お願いできますか。

#### 【谷口都市整備部長】

都市整備部長でございます。駅周辺の関係でございますけども、基本的には駅周辺は中心市街地活性化基本計画、これの中で位置づけておるところでございます。その中で2核2軸という考え方がございまして、特に駅前については、駅周辺再生基本構想というものをつくって事業をさらに進めようという考え方を基に、計画を立てているところでございまして、令和2年度はこの駅周辺再生基本構想の第2期というものを作成いたしましたところでございます。その中には、これまでの取組を踏まえながら、連携中枢都市圏の考え方であ

りますとか、それからA Iなどでありますとか、新型コロナウイルス感染症の状況と、そういう新しい視点も踏まえた上で、委員の皆さまに計画をつくっていただいたというところでございます。そういう視点も、令和3年度の事業にも取り込みながら、中心市街地活性化基本計画全体を見ながら、特に駅周辺についてはこれからも取組を進めてまいりたいというように考えているところでございます。以上でございます。

#### 【高橋企画推進部長】

企画推進部長の高橋です。私からは、旧庁舎の跡地の活用についてお話をさせていただきたいと思います。先ほどお話がありましたように、先般専門家の委員会を開きまして、どういった機能がいいのかという絞り込みをする作業をさせていただきました。その会で、まだ結論が出ておりませんで、今週、また委員会を開かせていただきたいなというように思っております。

アンケートの結果についても、新聞などでご覧になっていただいておりますというように思いますけれども、ある程度の傾向が出てきております。これを1つにいきなり絞ることではなくて、アンケートの結果を尊重させていただきながら、最大5つぐらいに絞り込んでいって、来年度早々に具体的な、それぞれの機能を実現するための具体的な活用策について、検討を始めたいというように思っております。なるべく早く決めてくださいというような意見をたくさんいただいておりますので、来年度なるべくスピード感を持ってやりたいとは思っておりますけれども、やはり具体的な活用策になってまいりますと、こちらも市民の方の意見、また議会の意見とか、また専門家の方の意見、こういった意見を伺いながらやっていきたいというように思っております。ワークショップであるとか、またアンケートとかも取りながら具体的な活用策を考えていきたいというように思っておりますので、またご意見をよろしくお願ひしたいと思ひます。

#### 【塩谷委員】

ありがとうございます。私たち文化団体、67団体の要望も出ておりますし、市民アンケートの結果も出ておりますので、極力早く進めていただきたいと思ひます。そして、若桜街道ですけど、旧本庁舎跡地、何かそういう人が出入りする施設を造っていただければ自然と若桜街道の人通りも増えてくると思ひます。ぜひなるべく早く実現していただきたいと思ひます。以上です。ありがとうございました。

#### 【林委員長】

ありがとうございます。

そのほか委員の皆さんから何かございますでしょうか。また、このあと、お1人ずつお話はしていただこうと思えますけども、今のところで何かご意見等ありましたら。

特によろしゅうございますか。

それでは、議題の（２）、第２期鳥取市創生総合戦略（案）については、これで終わらせていただきます。

それでは、次第５番目の意見交換に移ります。最初に市長さんからもお話がありましたし、私からもお話ししましたとおり、本日を含めて９回にわたって、鳥取市総合計画や鳥取市創生戦略等について議論してまいりました。４月から新たな計画や戦略がスタートしますが、ここでご出席の委員の皆さん全員から第１次鳥取市総合計画の施策の推進など、市政に関するご意見、ご提言を一言ずついただきたいと思えます。時間は３０分以上ございます。本日の出席委員は１４人ですから、お一人３分弱多分お話しできると思えます。

上原さんから順番に感想でも結構ですので、お願いいたします。

#### 【上原委員】

上原です。身近なところの話なのですが、Iターンで鳥取市に住んでくださっている方が、勤めはじめられて、ちょっと心の悩みでお仕事に出られなくなったという話を聞いたんです。そういう場合に、どこかそういう心の相談できる場所というのがあるのかなど。その辺がちょっと分からなかったんですけど、その方は、今年の５月ぐらいには地元に戻られるという話も聞きました。せっかく移住していただいたのに、何かそういったことに対処できるようなところがあればと思うんですけど、相談できる場所はありますでしょうか。

#### 【林委員長】

健康こども部長さん、お願いします。

#### 【岩井健康こども部長】

健康こども部長、岩井でございます。心の悩み、あるいはひきこもりの方々ということで、鳥取市でも支援させていただいておりまして、相談窓口を設けております。保健所の保健医療課、この中に心の健康支援室という特別な室を設けておりますので、そちらに相談をかけていただければと思います。よろしくお願いします。

#### 【林委員長】

ぜひ、その方にお伝えしていただいて、もう少し鳥取のほうで活躍していただいたらと思います。次に、岡村委員さん、お願いします。

### 【岡村委員】

岡村です。私はタイム、とっとり交流連絡会という国際交流に関わる会を代表して、出させていただきます。

最近ですが、鳥取に来られる外国人もそうなのですが、今までは中国ですとか韓国系の方が多かったのですが、最近外国人労働者の割合が変わってきてまして、ベトナム人の労働者が多く入ってきております。今までとはちょっと文化が違う方が入ってこられて、いろいろ問題が起きたりもしているということをごらほら聞きますが、そういった方が問題を起こさないようにすることや、そういった方のケアというの、やっぱり文化が違うので必要になっております。市としても支援に取り組んでいただきたいなということをご要望いたします。よろしく申し上げます。

### 【林委員長】

企画推進部長さん、申し上げます。

### 【高橋企画推進部長】

企画推進部長です。ありがとうございます。おっしゃるとおり、今ベトナムの方が非常に一番多いと思います。中国の方とか韓国の方よりもかなり多くなっているという状況でございます。今年度、私どもは多文化共生の社会の取組が必要ということで、基本計画をつくらせていただきました。意見も照会させていただいたのではないかなというように思いますけれども、そういった方針を基に来年度以降取り組んでいきたいというように思っております。もちろんホームページの多言語化ということや、それからまちなかでのそういった案内文であるとか、そういったことも今後必要になってくるのかなというように思います。多くの外国人の方がいらっしゃいますので、湖山には国際交流プラザなどもあります。そういったところを中心になるべく支援を広げていきたいというように思っておりますので、引き続きご協力をよろしくご祈願いたします。ありがとうございます。

### 【林委員長】

よろしゅうございますか。ありがとうございます。

それでは、小谷委員さん、申し上げます。

### 【小谷委員】

小谷です。今回この総合計画の委員として関わらせていただいて、本当に市の事業とか、そういうものをまた身近なものとして捉えることができたかなというふうに思っています。

その中で、まちづくりというのが一番の主体になってくると思うんですけども、まちづ

くりの基本の、誰もが自分らしく暮らし続けることができる、持続可能な地域共生のまちを目指すということで、その中で、今後の鳥取を発展させていくためには人づくりが大切だということで、教育の充実とか、そういうのをしっかり図っていただきたいなというふうに思っています。

それから、これからデジタル化が進んでいくと電子申請であるとか、いろいろなものがオンラインによって行われたりすると思うんですけど、私が友達とかにそういうこと言うと、使ってないよという反応が本当に多いです。そういう人たちに向けて、本当にデジタル化になったときに、どのようにすればいいのかというようなことが、きちっと一人一人に伝わっていくようにしてほしいなというふうに思っています。

先ほど、上原委員さんから、どこに相談に行ったらいいか分からないというようなお話もあったんですけども、それぞれの地域の中で、困っている人に対して支援ができる体制づくりというのも必要です。市役所の職員だけではとても無理だと思いますので、まちづくり協議会であるとか、そういうところにしっかりと足を運んでいただいて、こんなときの相談を、こんなところできるといような組織があったらいいかなと思います。今、私は、ふれあい食堂に関わっていて、子どもとか、それから高齢者の方が来られていて、人数も多く来られるようになったんですけど、そういう居場所づくりの中で、小さな声が聞き取れるようにしていけたらなというふうに思っています。待っていても一人一人の声は届かないと思いますので、本当に市の職員の方は大変だと思いますけども、もっと出かけて行って一人一人に届くような施策の充実を図っていただいたらというふうに思っています。お願いします。以上です。

#### 【林委員長】

ありがとうございます。

続いて塩谷委員さんお願いします。先ほどお話をされたので、よろしいですか。わかりました。

それでは、下田委員さん、お願いします。

#### 【下田委員】

下田です。私はこの委員会以外に連携中枢都市ビジョン懇談会にも出席させていただいておるんですけども、鳥取市には麒麟のまちの推進の事業があります。今回、ビジョン懇談会に出ていて思ったのは、新温泉町の方は非常に鳥取市と一体ですということを強調されます。何かやっぱり鳥取市を頼っておられるというのをひしひしと感じたかなと。ただ

し、鳥取県東部の4町の方は普段から一体的になっているので、なかなかそういうところが、ある意味ライバルであっていいんですけど、連携という部分が若干少ないのかなという気がしております。

今回のコロナワクチンの関係におきましても、私ども東部医師会は当然1市4町が業務の範囲ですので、4町の話もお聞きしているんですけど、どうしてもある面では鳥取市を頼られたりとかというようなことで、連携がうまくいってなかったなというようなことをちょっと感じましたので、今後麒麟のまちとか、連携中枢都市ビジョン等でもこの連携をしっかりといただければ、鳥取市だけじゃなく、大きな総合計画とか事業の推進に役立つんじゃないかなと思ったのが感想です。

#### 【林委員長】

ありがとうございます。

続いて、杉本委員さん、お願いします。

#### 【杉本委員】

杉本です。コロナ禍で約1年過ぎようとしているところなんですけれども、教育現場に関していいますと、本当に、子供たちの安心・安全のために学校行事とか環境整備とか、本当にいろんなご苦労があったのではないかなというふうに思っています。私の周りにいらっしゃる同年代の方であるとか、あるいは小学生、中学生を持つお母さん方からちほらとお声を聞く機会もあるんですけども、本当に学校は工夫してよく頑張ってくださいというようにことをよく聞きますので、ぜひ現場の先生方に市民のそういう声を返していただけたらなと思っています。

それから、コロナ禍で2年目ということに、4月からなるわけですけども、少しずつ子供たちのそういう、何ていうんでしょうね、制限された生活の中から、コロナとうまく付き合いながら学校生活が、またもう少し幅が広がっていくとありがたいのかなというようにことも一市民として思っているところです。

それから、学校に関する様々な行事がたくさんあって、先ほどから、例えばGIGAスクール構想とか、4月からいよいよということで、本当に新しい時代のものが教育現場にたくさん入ってきて、ああ、教育の現場はまた多忙だなというようなことを本当に思います。そんな中で、先生方の働き方改革、健康管理、そして教員不足に対する人材の確保というようなことで、本当に教育委員会はじめ皆さまのご苦労というのはあろうかなと思っています。全てを満遍なくというのは非常にやはり難しいと思いますので、ぜひ軽重を

つけて、あるいはもうなくしていいものはあっさりやめようというような、そういう英断をしていただいて、先生方がいきいきと働ける環境づくり、鳥取市の学校は働きやすく、いいぞというような声が聞こえてくるとありがたいかなというふうに思っています。

それから、最後になりますけれども、今回のこの総合企画委員会に、参加させていただきまして本当にありがとうございます。鳥取市にずっと住んでいるとはいえ、なかなか行政の全分野に関していろんなことのお話を聞ける機会というのは、本当になくて、言葉ひとつから学んでいかないと分からないことがたくさんありました。全部分かったわけではないですけれども、鳥取市に携わっている皆さま方は、本当に一生懸命市政のことを考えてやってくださっているんだなということもよく分かりました。あとは、教育、学校運営に関してそうなんですけれども、やはり強弱をつけたり、メリハリをつけるといいますか、そういう部分がないと何か個性が出てこないといいますか、何かそういうところがあったり、あるいは何かわくわくしたものをやっていかないとなかなか元気が出ないというようなところはあろうかと思しますので、本当にこれからも鳥取市の発展を楽しみに、一市民として応援していきたいと思えます。どうもありがとうございました。

#### 【林委員長】

ありがとうございました。

次は吉田委員さん、よろしいですか。

#### 【吉田（正）委員】

労働団体から今回参画させていただいております。

私も初めて鳥取市の総合計画に関わらせていただきました。本来であれば私どもは労働団体でございますので、人づくりの観点から日々考えていることを市政に反映できたかどうかというのは分からないんですけど、いずれにしても私どもは鳥取市、行政に対して、政策、制度、環境を含めて要請をさせている関係上、市長をはじめ大変なコロナ禍の中で、市民の命や暮らしと安全を日々行政運営されていっていることに、まずもってご礼を申し上げたいなというふうに思います。いずれにしても、このコロナ禍の中で、鳥取市財政、潤沢なわけではございません。財政の健全性確保については言うまでもなく、重要でございます。財政運営の今後客観的な評価と、副委員長がおっしゃられていますように、日々のチェック機能を確保しながら、今後に向けて頑張りたいなというふうに思います。本当にありがとうございました。

#### 【林委員長】

ありがとうございました。

続いて、山本委員さん、お願いします。

#### 【山本委員】

令和元年、私がこちらに移住してきてから、こちらの委員会に移住者としてまちづくりの意見をということで参加させてもらっています。そのときに私自己紹介で、市民Aの山本ですというように自己紹介したんですけども、本当に始めたときはさっぱり意味が分からなくて、すごくいろんな膨大な資料があって、見たらいいことが書いてある。でも、書いてあることはすごくいいんですけども、一市民として考えたときの実態とのギャップと違和感というのをすごく感じていて、せっかく就任したからには何か役に立てることがあればいろいろ考え続けたんですが、今回の計画策定で何も私のほうからできなかったというのが印象で、移住者の代表として来ているわけなので少し申し訳なかったなというふうに反省しているところではあります。

ただ、私がすごく思っているのが、委員意見としても何回も出てきていた、PDCAサイクルを計画ですごくプッシュされていますけれども、本当にこのチェックとアクションというのができていないがために、多分、違和感が出てきているんじゃないかなと思っています。まだ解決策は私の中では全然出ていないんですが、私は現場の職員さんとよく話をするので、その人たちと話をする、やっぱり心に思っていること、こうしたいということがあるんだなと思うんです。それをうまく吸い上げてきて、うまく実行ができて、市民もこのすばらしい計画が入ってきているというのを感じられるような仕組みづくりですか、先ほどもおっしゃいましたけれども、チェック機関ですか、そういう仕組みづくりから変えていかないと何ともならないのかなというふうに思っているところです。ぜひ市長さんには、そちらの行政の仕組みですか、職員さんの教育、ICT化もこれから進めていくと思いますけど、実態として市役所の職員の方がIT関係のことをきちっとできているかといったら、市民から見たらそうではないというように私は感じています。なので、その辺りからも変えていただけたらうれしいなというのが、一市民としての感覚です。意見として捉えていただければと思います。

#### 【林委員長】

ありがとうございます。

次は、山田委員さん、お願いします。

#### 【山田委員】

山田です。今回初めてこの総合企画委員会に参加させていただきまして、初めて知ることもたくさんありました。毎回資料が届くたびにすごい仕事の量だなとか、市役所の仕事とか、行政の方は本当にこんなに業務があって大変だなというふうに改めて感じました。

私は、子育て分野からということで参加させていただいているんですけども、鳥取市保健所になって、健診会場でいつも集まっているんですけども、そちらもリニューアルといますか、新しくなってとてもいい環境で、健診に来られる方も何となく以前より明るい顔をされているような、やっぱり場所がきれいだとか気持ちがいいなというふうに思っています。

これまで活動をやってきた中で思いますのは、いろんな取組がそれぞれあるんですけども、行政の中、この部署はこれだからこれだけというような、縦割りといいますか、その辺りが横でつながればいいな、目的は一緒なのにというように感じる場所があります。その辺り工夫をしながらといいますか、市民から集めた税金ですので、無駄のないように横のつながりも大事にしながら、進んでいけばいいのかなというように感じました。

また、私たちは保健師さんと活動を一緒にさせていただいていますけれども、一つの事業を3年間で計画をされたときに、ちょうど職員の方と信頼関係ができた頃に人事異動で人が替わって、また信頼関係を最初から積み上げていくということがあります。もし可能でしたら、3年間事業であればその間は異動などもなかったら、もう少しスムーズにいくんじゃないかなというふうに感じる場所もありました。

あと、今日の説明の中で、高校生の生徒さんが企業の中に入っていくという戦略の取組があったようですけれども、ぜひ鳥取市をつくっている市役所の中でも体験とか、鳥取のまちをつくっていかうというところで市役所でも体験ができればいいんじゃないかなというように思いました。以上です。ありがとうございました。

#### **【林委員長】**

ありがとうございました。

森本委員さん、お願いします。

#### **【森本委員】**

本当にありがとうございました。

地域の住民として一つお尋ねしたいのは、湖山池の周辺は市有地になっているところが多いと思いますが、金沢公園、私の住んでいる地域は湖南ですけども、金沢公園、それから

福井、それから福井からまた三津まで、県の仕事かと思うんですけども、浚渫した跡地がまだ荒れたままで残っております。高速道路もできて、高速から望む金沢公園はきれいな四季なんです。今ちょうど桜が山々に咲いて見事な走り映えができるところになっております。この湖山池公園の金沢公園、それから福井公園、それから布勢から大学までの広場がありますね。これは今、指定管理できれいにさせていただいて、青島もきれいにさせていただいておりますけども、野原だけじゃどうにもならんんじゃないかなと。何か利用方法がないかなと、地区として考えないといけんかなというふうに思っておりますので、市のほうでも有効活用の検討をぜひお願いしたいというふうに思います。以上です。

### 【林委員長】

ご要望ということでよろしいですね。ありがとうございます。

それでは、前根委員さん、お願いします。

### 【前根委員】

前根でございます。金融分野から参加をさせていただいております。様々な地方創生、総合戦略の取組があるわけなんですけど、やはり仕事づくりということで、持続可能な経済成長の実現というところでどうしても目がいってしまいます。

コロナ禍での約1年ということで、この1年の状況をざっと言いますと、やはり、宿泊、飲食を含めたところの各事業者さん、あらゆる業種がだいぶ痛んでおります。この1年間は、国や県や市の方々のいろんな制度融資だとか、補助金助成金による資金繰り支援で何とかもっている状況ではありますけど、やはりここに来て、少しずつ、いわゆる廃業だとか、そういったものが出てきております。

コロナで影響を受けられた事業者さんが、現在、一生懸命取組をしておられるのは、キーワードでいきますと4つでございます。デジタル化の推進だとか、新事業の模索、新商品の開発だとか、社内の人員体制の整備、各事業者様にお話しを聞きますと、これら4つのことがキーワードとなっております。

重点施策を見させていただきますと、まちづくりの投融資制度は、起業創業の支援ですし、また第三者承継補助金の交付による事業承継の支援、これらは企業のニーズに沿った施策だというふうに考えております。さらに言いますと、産学官の連携や農工商連携の推進を行うというような記載がありますが、本委員会の委員でも、私を含めて農協さんだとか、あと副会長さんもいらっしゃいますので、ぜひこの連携の推進を早急に加速させていただいて、このK P Iを達成して、鳥取市をよくしていきたいなというふうに思っております。

ますので、今後ともよろしく願いいたします。以上です。

**【林委員長】**

ありがとうございました。

田中委員さん、お願いします。

**【田中（節）委員】**

田中です。感想ということにさせていただきたいと思っておりますけども、私は主に福祉分野に視点を置きながら参画させていただきました。また、並行して総合計画に関連する個別計画、こちらの策定にも関わらせていただいたわけですが、今後はこの計画の実現に向けてしっかり進捗状況のモニタリングをしていきたいと思っておりますし、また鳥取市社会福祉協議会ということで、実施団体にも位置づけられておりますので、鳥取市と連携しながらしっかり取り組んでいきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。以上です。

**【林委員長】**

ありがとうございます。

では、坂本副委員長、お願いします。

**【坂本副委員長】**

坂本でございます。一昨年から、この総合企画委員会に参加させていただきました。こういう委員会が、本当にいろんな意味で、地域のそれぞれの役割を持たれた方が発言をされ、そしてそれを踏まえて市の幹部の皆さんと本当真挚な意見交換ができるということで、ぜひ闊達な形で、できれば本当にかみしもを脱ぎ捨てて、お互いに地域を考える、地域の経済を考える、地域の人たちを考える、生活を考える、そういう立場で意見交換、それから役割の中でお互いにやはりやるべきことを指摘し合うといいですか、それを踏まえて協力し合う、連携し合うということが大事だろうと思っております。

新型コロナウイルス感染症が昨年からなかなか収束に向かっていかないという状況で、今我々に突きつけられていることは、恐らくコロナがなくても徐々に徐々に、気づかないうちになっていくことが、コロナで顕在化され、スピードを増して迫ってきているのだろうと。そういうことを考えますと、やはりこの危機感といいですか、やはり地域としていかに生き残っていくのか、もしくは国としてもこの困難な状況をどう克服していくのか、非常に我々にとっても大事なことであり、ましてや未来を担う子どもたちにとっても非常に大事なことだろうと。そういう面では、本当に忌憚のないところで意見交換ができる場

を、こういう形をつくっていただいで非常にありがたいと思っております。

あとは、やはり将来、未来を担う人材をどう育てていくのかとか、そういう意味では先ほどの高校に対する取組、これもなかなか市のご担当とも若干会議所等で意見交換させていただきましたけども、本質的なところをつかみ切れていない中で、何となく課題を共有化できないままで物事が進みかねないと感じています。この辺もやはり行政の方々と、地域経済を担う立場の方々、それから経済以外でも地域を担っているいろんな形で活動されている方々の本当の意味の連携が大事だろうと思っております。

10年の計画、それから5か年の戦略が策定され、まさに4月1日から新しい年度が始まるということでございますが、市の皆さんは、今回この計画を策定されるにあたっては非常に多大な努力、ご尽力されたと思います。これを無駄にしないためにも、先ほどからお話が出ていますように、しっかり計画を前提として行動し、かつまたそれを振り返りながら修正して、新たなものを付け加える。もしくはちょっと違ったという場合については少し変更していくというようなこともやっていいことではないだろうか。いずれにしても、今後もこの企画委員会の中でも、継続していろいろ皆さんと本当に鳥取市、もしくは鳥取県、それから地区にということ踏まえて、地域のために意見を申し上げていきたいと思っておりますので、よろしくお付き合いいただきたいと思っております。どうもありがとうございます。

#### **【林委員長】**

ありがとうございます。

それぞれ、いろいろご意見を出していただきました。非常に、それぞれが日頃ずっと感じてらっしゃることを市民目線でお話いただいで、本当だなと思うような事柄が非常に多かったです。私も今までずっと行政に関わっておりましたが、これだけ幅広い施策を全部見るということにはなかったもので、非常にいい勉強をさせていただいたと思います。今も坂本副委員長さんがおっしゃられたように、計画をしっかり実施していく、その中で総合企画委員会でもしっかりチェックをし、忌憚のない意見を皆さんが出すことができるということが一番大事だと思いますので、ぜひ次の任期は、また別の方が入られるのかもしれませんが、鳥取市がよりよくなるような形で委員会が役に立つことがあれば一番いいなと思っておりますので、ぜひよろしくお願ひしたいと思っております。

それでは、意見交換はこれで終わらせていただいで、ここで市長さんから一言お願ひをいたします。

## 【深澤市長】

ご指名いただきました。一言でということではありますが、本当に多岐にわたりまして、本当に示唆に富むご提言、ご意見等いただきましたこと、まずもって心より感謝を申し上げます。本当にありがとうございます。

また、1年半、本当に長きにわたりまして、9回の委員会で総合戦略、総合計画についてご審議をいただきました。本当に感謝申し上げる次第でございます。

連携が大事だというようなことも、坂本副委員長さんからいただきました。これから世の中が本当にあつという間に短いサイクルで変わっていく、国内外が非常に大きく目まぐるしく変わってきている、そういった中に我々はいるわけでありましてけれども、この計画をつくるのが目的ではなくて、間もなく令和3年度がスタートするわけでありましてけれども、不断の検証が必要であるというように思っておりますし、それに基づいて見直しをしていく、これが必須であると考えておるところであります。それぐらい本当にあつという間に世の中が変わっていくというような状況があると思っておりますので、しっかり我々、それを見極めながら検証していく。予算化するに当たっても、前例踏襲するということではなくて、今までこうやっていたからというようなことは通用しないと考えたほうが良いと思っておりますので、この総合計画、総合戦略、それから事業概要を今日皆さんにご覧いただいたところではありますが、予算編成、予算執行等々が有機的にシステムとして、できるようにということが今回一つの工夫だったというように思っておりますので、そういった形でこれからしっかり進捗管理をしながら、事業を進めてまいりたいと、このように考えておるところであります。

副委員長さんから共助交通について、例として取り上げていただいたわけでありましてけれども、ちゃんとその辺りがしっかりできているのかというようなご懸念だったと思っております。少し補足させていただきたいと思っておりますが、平成21年、10年以上前ですが、末恒地区、内海中の皆さんがNPO法人を立ち上げられて、公共交通が空白の地域で自分たちで運営をしていこうと、こういった取組が始まりました。また、大和地区の皆さんは自分たちが始めようということでありまして、国英地区の皆さんも今実証実験といいますか、取組をしていよいよ新年度から進めていこうと。これで3つの地区が取組を進めておられるということではありますが、佐治町でもやっけていこうとしています。5年間ということですから、1年に1地区ずつということではありませんけれども、3地区が8地区というような、そういった感覚でこれから全市的にこの取組を広げていこうと。広げるに当たっては、やはり鳥

取市の支援とか、制度設計が今まで以上に求められると思いますので、それを地域の皆さんと一緒にこの事業を取り組んでいただきながら考えていこうと、このようにしておるところであります。こういったことで、これは1つの事業の例でありますけれども、全事業そのような形でしっかり全庁的に管理しながらやっていこうというような仕組みになっておるところでありますので、その点については少しご安心いただければというように思っておるところであります。

また、小谷委員さんから、きちんと一人一人にいろんなことが伝わるようにということと、小さな声でも聞き取れるように、現場にしっかり出るようにというようなお話もいただきました。全くそのとおりであると思います。また、小さな声でなくて、やはり声も上げられない、そういった方もいらっしゃるんですが、そういった方の思いやお考えもしっかり我々がちゃんと感じとれるようにといたしますか、自分たち、職員一人一人が五感を働かせて、そういった声をしっかり聞き取っていくというような努力は今まで以上に必要ではないかなと思っております。いろんなことが今行政に求められるわけでありましてけれども、価値観も多様化してきております。非常に困難な状況にあるわけでありましてけれども、一つ一つしっかりとこの計画を基に取り組んでまいりたいと思っておりますので、また引き続きいろんなご意見、ご提言等賜りますようよろしくお願いを申し上げたいと思っております。本当に長期にわたりご審議いただきましたこと、重ねて感謝申し上げます、お礼のご挨拶とさせていただきます。本当に皆さん、ありがとうございました。

#### **【林委員長】**

皆さまから特にその他ございますでしょうか。よろしゅうございますか。

それでは、以上をもちまして令和2年度第6回鳥取市総合企画委員会を閉会させていただきます。皆さん、ありがとうございました。